

平成29年度愛知県中学生バドミントン大会
競技上の注意事項

本年度、愛知県で実施される各大会の共通した注意事項を以下に示します。この注意事項を遵守し、公正かつ円滑に大会運営が行なわれるようご協力お願いいたします。

1. 愛知県で実施されるすべての中学生大会については、平成29年度（公財）日本バドミントン協会競技規則および本大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。

2. 選手は、競技場で待機し、招集のコール（場内放送）に従い、選手待機場所に集合してください。コール後10分を経過しても集合が確認できない場合は「棄権」とみなすことでもありますのでご注意ください。

3. 各コートバックバウンダリーライン後方にベンチとコーチ席2席を設置します。コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。裸足、スリッパではベンチに入れません。シューズを必ず着用してください。

県総体、愛知県中学校大会（団体戦）については対戦中にベンチ・コーチ席に入ることが認められるのは、登録した監督・コーチ・選手のみとします。なお、試合前後の整列挨拶は、若番チームが主審の右側エンドとします。

県中学生大会（春）、県新人戦（秋）については、コーチの登録を必要としません。

4. 試合前の公式練習は、団体戦は各種目の前に2分間、練習時間をとります。

シングルスについては、対戦相手と練習を行なってください。

県中学生大会、県新人戦、中学校大会（団体）については公式練習を行いません。

5. 試合中の怪我等については大会主催者の指示に従ってください。主催者が認めた者がコート内に入り、処置を行ないます。それ以外の者は選手に触れないでください。

出血をとともなう怪我（鼻出血を含む）については応急処置を行ない、主催者判断のもとで競技を続行します。それ以外の場合（足がつるなど）については、プレー続行を促し、続行不可能な場合は棄権を宣告する場合があります。

6. シャトルやラケットの交換、靴ひもの締め直し等でプレーを中断する場合には、必ず主審の許可を得てください。また、試合中の汗拭きや水分補給等は同様に主審の許可を得てください。飲み物は必ず栓ができる容器を使用し、フロアに水滴がこぼれないように配慮をお願いします。なお、選手の状況等によっては主審が認めない場合もあります。

また、氷嚢やドリンクなどを入れるクーラーボックスをアリーナ内に持ち込むことは禁止します。持ち込む場合は、ソフトケースを使用してください。なお、ソフトケースも団体戦はベンチ、個人戦はコーチ席までしか持ち込めません。

7. マッチ（試合）中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)違反とみなします。あわせて、ベンチ、コーチ席での携帯電話の使用は禁止します。

8. 競技規則第 16 条 7 項の規定により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意してください。

(1) プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。

(2) 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。

(3) 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。

(4) コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を超えた不品行または不快な行動。

ネットや床をたたく行為は、競技役員長より警告をあたえます。繰り返されるようならば失格処分を下すこともあります。

9. 審判員の判定に対して疑問のある場合には、団体戦については当該選手と監督、個人戦については当該選手に限り主審に質問することを認めます。ただし、抗議や意義は認めません。

県中学生大会（春）、県新人戦（秋）、中学校大会（団体）については主審を敗者で、線審を相互に出し合っ
て競技を行いません。中学生同士で審判を行うので、正しく審判ができるよう参加者への指導を各団体に徹底
しておいてください。

10. 選手は、試合中上衣の背面中央必ず所属学校名（〇〇中）と選手の姓（同姓の選手が団体内に所属して
いる場合は名前の一文字目）を示したゼッケンつけて競技を行ってください。ゼッケンは4点をとめてくださ
い。

また、上衣の裾は下衣に入れてください。

11. 応援をする選手や保護者に次のことを連絡し絶対に行わないように徹底してください。

① ラリー中の声援（サービスの構えに入った場面からラリー中です。）

② ものをたたいての応援（団扇を含みます。）

③ インターバル中の歌を歌うような応援（他のコートで試合をする妨げになります）

④ フラッシュを使用しての写真撮影

⑤ 観覧席の前列に立っての応援